

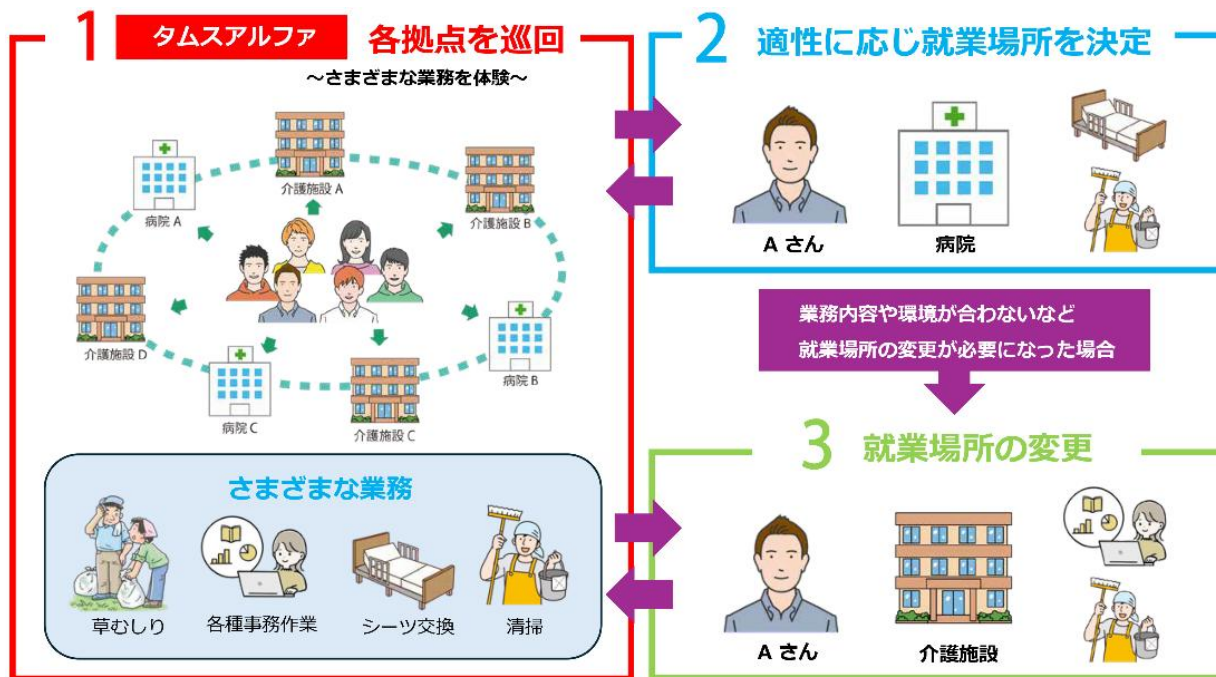
2025 年 5 月 20 日

障害者雇用促進・定着を目的に 一人ひとりが力を発揮できる巡回型雇用の専門部署 『タムスアルファ』を医療・福祉法人で拡大

タムスグループ（理事長：岡本和久、事業所数 81 拠点、職員数 6392 名）は、2025 年度からの障害者の法定雇用率の引き上げ・医療業における除外率の引き下げを受け、障害者の受け皿を拡大、一人ひとりが個性を発揮して働ける環境づくりを目的としたしくみ “タムスアルファ” を強化いたします。

【タムスアルファの概要】

複数人数でチームを組むタムスアルファは、グループ内の病院や介護施設など各拠点を巡回し、シーツ交換や各種事務作業、清掃、草むしり等グループ内で想定されるさまざまな業務を管理者指導のもと体験していただきます。その後希望者には、グループ内拠点への配属を目標として適性に応じた育成を行い、就業場所を決定いたします。業務内容や環境が合わない場合は、その方にあった就業場所に異動が可能。お一人おひとりが力を発揮できるしくみとなっています。



【背景】

障害は、障害種別や程度区分、等級区分、症状によって、お一人おひとり様々です。同じ障害種別や程度区分、等級区分の人でも周囲の環境や体調によって症状が異なる場合があります。そのような障害の特性を理解し配慮することで、お一人おひとりが力を発揮できるような環境としくみを整えています。

【タムスアルファで活躍している A さんのケース】

2 年ほど前に就労移行支援事業所の職員と一緒に見学いただいた後、タムスグループに入職した A さん（男性）は、障害程度区分で重度の知的障害をお持ちの方です。



就労移行支援事業所では箱の組み立てなど軽作業が中心であったことから、病院や介護施設でどのような業務ができるのだろうかとお母さんや就労移行支援事業所職員が心配をするなかでのスタートでした。様々な障害を持つ方がチームで動くタムスアルファで、ゆっくりではありますが、ベッドのシーツがけやカバー交換の技術を身に付け、2025 年 4 月には特別養護老人ホーム（以下特養）に就業が決まりました。就業した特養では、ベッドメイキング業務のほか、草むしりなどを対応いただく専属職員となり、これまでとは違い一人で業務にあたるが多くなります。施設長や事務員がフォローをしたり、タムスアルファで指導をしていた職員が定期的に顔を出したり、引き続き A さんの成長を見守ってまいります。

【タムスアルファ責任者のコメント】

障害者の雇用において、巡回型業務はよくみられるやり方です。病院・介護施設等複数の拠点を持つタムスグループでは、巡回型・就業型どちらが適しているか、就業型であればどの拠点の業務や職場雰囲気適しているかなど、働き方や働く場所を選べるのが強みといえます。タムスアルファで真面目に取り組み、今回拠点で責任をもって業務をすることになった A さんの活躍は、他のメンバーのモチベーションアップにもつながっています。

◆タムスグループ概要

タムスグループ（tums / towakai universal medical service）は、病院、クリニック、在宅診療、高齢者福祉施設、訪問看護、認可保育園、乳児院等の施設を有し、医療と福祉の相互連携を行うことでシームレスなサービスを提供することをめざしています。



▲タムスグループ
ホームページ



▲障害者雇用
ホームページ

本件に関するお問い合わせ先 管理本部 総務部 広報課 林 玲子 電話番号：070-2490-6385
mail : r-hayashi@tums.or.jp